

ご存じですか！文化財

「初代柏戸力士生誕地」

市指定史跡
昭和60年3月25日指定

32



問合せ
北川辺教育事務所
☎0280・62・1710



所在地 柏戸254

みなさんは昭和30〜40年代の「柏戸時代」をご存じでしょうか。

横綱大鵬と並び称された第47代横綱柏戸の四股名は、18世紀後半、安永年間に活躍した幕内力士「柏戸村右衛門」にそのルーツがあります。

初代柏戸は元文3(1738)年柏戸村の出井家に生まれ、縁あつて騎西出身の伊勢ノ海が創立した伊勢ノ海部屋に入りました。宝暦8(1758)年、19歳で初土俵を踏み、幕内上位になるにおよんで故郷の地名にちなみ「柏戸村右衛門」と改名しました。

最高位は前頭三枚目であったといわれています。後に弟子の

三代目柏戸が大関に進んだことから、「柏戸」は格式ある四股名として後代に受け継がれることとなりました。

天明3(1783)年に三代目伊勢ノ海を襲名し、その後、毎場所のように差添や勧進元を務め、当時の相撲界の隆盛に貢献しました。また「決まり手」を定めるなど、さまざまなルールを確立したことで、相撲が広く普及する基礎を築きました。

寛政8(1796)年、59歳にて没。生家出井家に伝わる位牌には
真台院高岳智教居士 伊勢ノ海
寛政八年八辰
五月二十日 村右衛門
とあります。



出井家敷地内にある石碑

紹介者 山崎 繁雄さん(駒場)